



10 綴錦「平等院鳳凰堂図」壁掛

西村治兵衛 1枚 明治28年(1895)

268.5×362.0

明治28年の第4回内国勸業博覧会出品作で、平等院鳳凰堂の秋景を綴織としたもの。制作者の西村治兵衛は、「千切屋」の分家の一つで、この十三代治兵衛は実業家としても知られる。本作は、博覧会で妙技二等賞受賞して宮内省買上げとなった。原画は谷口香嶠(1864～1915)、織工は中井弥七である。中井はこの博覧会で本作の織法を認められ、妙技三等賞を受賞した。



- ・各展覧会図録中，作品名や作者，制作年などの表記は，図録発行当時のものです。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録の著作権はすべて宮内庁に属し，本ファイルを改変，再配布するなどの行為は有償・無償を問わずできません。
- ・三の丸尚蔵館の展覧会図録（PDF ファイル）に掲載された文章や図版を利用する場合は，書籍と同様に出典を明記してください。また，図版を出版・放送・ウェブサイト・研究資料などに使用する場合は，宮内庁ホームページに記載している「三の丸尚蔵館収蔵作品等の写真使用について」のとおり手続きを行ってください。なお，図版を営利目的の販売品や広告，また個人的な目的等で使用することはできません。

美術染織の精華―織・染・繡による明治の室内装飾

三の丸尚蔵館展覧会図録 No.54

編集 宮内庁三の丸尚蔵館
制作 株式会社 東京美術
翻訳 横溝廣子
発行 宮内庁
平成二十三年三月二十九日発行

©2011, The Museum of the Imperial Collections